

神樹の会会報

No. 45

平成 10 年 7 月 16 日

発行所：神樹の会

発行人：宮脇 テル子

本部事務所 (六甲作業支援センター内) ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

垂水作業所 ☎782-9675
〒655-0038 神戸市垂水区星陵台4-4-45

たおじ作業所 ☎987-2532
〒651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689

六甲作業支援センター ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

明芳デイサービス ☎735-8835
〒654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4

ゆめの作業所 ☎578-3539
〒652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10

福祉の店「いたやど」 ☎733-2477
〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12

平成10年度総会が去る六月二十一日(日)に神戸市保健福祉局障害福祉部部長藤井良三様はじめ多数の来賓をお迎えし、神戸市勤労会館で行われました。会長あいさつに続き来賓の方々からお話をいただきました。また意見交換で将来への希望なども話し合われました。

会員総数	758
出席者数	78
委任状	320
合計	398

障害者の生活の質の向上を目指して

神樹の会会長 宮脇 テル子

最近改革と伝統という言葉をよく聞きますが、伝統を重んじつつ改革をするということでしょうか。27回総会を迎え外部より変化が押し寄せ又障害者の重度化により変えざるを得なくなっている。障害者の生活の質の向上のために力を合わせて進めて行かなくてはならない。2月にたおじ作業所、4月にゆめの作業所を開設し順調に運営されている。六甲作業支援センターは昨年再出発し、現在準備中なので来年卒業の方にとって福音があると思われる。よろしくご協力お願いいたします。

「卒業後の施設も…」

神戸市会民生保健委員会 浜崎 為司

昭和47年から活動されている。皆様のお話から神樹の会の社会での活躍ぶりがよく理解できた。市会でも福祉問題を後退させないという姿勢で頑張っている。卒業生が社会の中で活躍できる施設を作っていく事も我々の課題と思っている。27年の歴史の努力がますます社会の中で影響力を増していくよう、皆様のご活躍を祈念してお祝いの言葉といたします。

重点目標

1. 会員相互の絆を強め、共に生きる輪を広げよう
2. 身体障害児(者)の社会への参加
 - ①事業の確保・拡充
 - ②療護施設の早期実現
3. バザー活動の発展と充実

「進路」が課題

神戸市立友生養護学校長 田中 等

垂水・友生両校を代表してお祝い申し上げます。神樹の会の両校に対してのご支援・ご協力また進路確保へのご尽力にもお礼申し上げます。時代の変化に対応した運営をしたいが、医療的ケアに対応する進路確保、訪問教育の充実とたくさんの課題を抱えている。友生養護も5年間で40人が卒業するが、その進路が大きな課題です。神樹の会のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

感謝

平成十年五月から六月までに次の方々より尊いご寄付をいただきました。
・日韓美術交友会様
・肢体不自由児協会様
・親和福祉会理事長 安田登様
・高内 恒夫様

どうなるのかな…教えて!!

総会質疑応答から

六甲作業支援センターは…

Q 六甲作業支援センターが活性化されると聞き、喜んでいますが、実習に行きましたが週一回位しか行けないし、介助に親が入らなければならぬので、その条件では利用する人が少ないです。
A 毎日オープンしていますが、利用者が少ないこともあって今の状態です。現在整備中ですのでご期待にそえるようにしたいです。

Q 予算を組まなくても明輪会への委託金だけで賄えるのでは。
A 明輪会から人件費などは支払われていますが、本会と明輪会とのとりきめで授産活動・運営は神樹の会が行っているので予算が必要となります。

Q 親が病気で送迎できなくなった時などに六甲作業支援センターを利用できたらうれしいです。

重度障害者施設設置基金は…

Q 重度障害者施設設置基金について教えてください。
A 最初は療護施設建設資金だったが重度・重複化にもない療護だけでなく生きがいのある生活を援助できる施設がいろいろ必要と名称を変えました。

Q 法人でないと療護施設デイサービスはつくれないし、いつまで積み立てればいいのかかわからないと不安でバザーを手伝う気持ちもなえてきます。

アンケートで…

A 五年前のアンケートで療護施設希望がトップでした。明輪会・他団体とも話したが進展しませんでした。今年もまたアンケートをとり今後の方針を決めていきたいと思っています。
Q 卒業後行く所がないと自分たちで作るしかないのかと不安です。

A たおじ・ゆめの作業所のような小規模作業だと出来ますよ。
Q この会が努力している事をみなさんに伝えたいと思います。

「あいさつ」

神戸市保健福祉局障害福祉部部長 藤井 良三

ノーマライゼーションの実現にむけて多彩な活動をされ、作業所・デイサービス事業等の運営で進路確保に努力されてきました。今後の福祉のあり方は、障害のある方が自ら自分の生き方を選択していきけるよう求めていかなくてはならず、地域支援・在宅支援・重度化・介護者の高齢化への施策の充実、意見表示できない人の権利擁護システムも考えなければなりません。
市においては平成九年に後期五か年福祉計画がスタートし、重度の方の在宅支援、人権尊重、自立援助をどう推進していくかを、基本的に考えています。

重点目標に療護施設建設があり、市も後期五か年計画にあげています。夏過ぎに西部在宅障害者福祉センターがオープンし、重症障害者の在宅支援を重点的にはじめます。神樹の会垂水作業所もその中に入っています。地域の中で在宅障害者の役割の一端を担ってもらうことを期待しています。



藤井良三様の「あいさつ」

神樹の会は みんなのバザーで 支えられています

神樹の会の運営は会費や寄付金の他大部分がバザー収益で賄われています。そのバザー収益から積み立てられてきたのが重度障害者施設設置基金です。

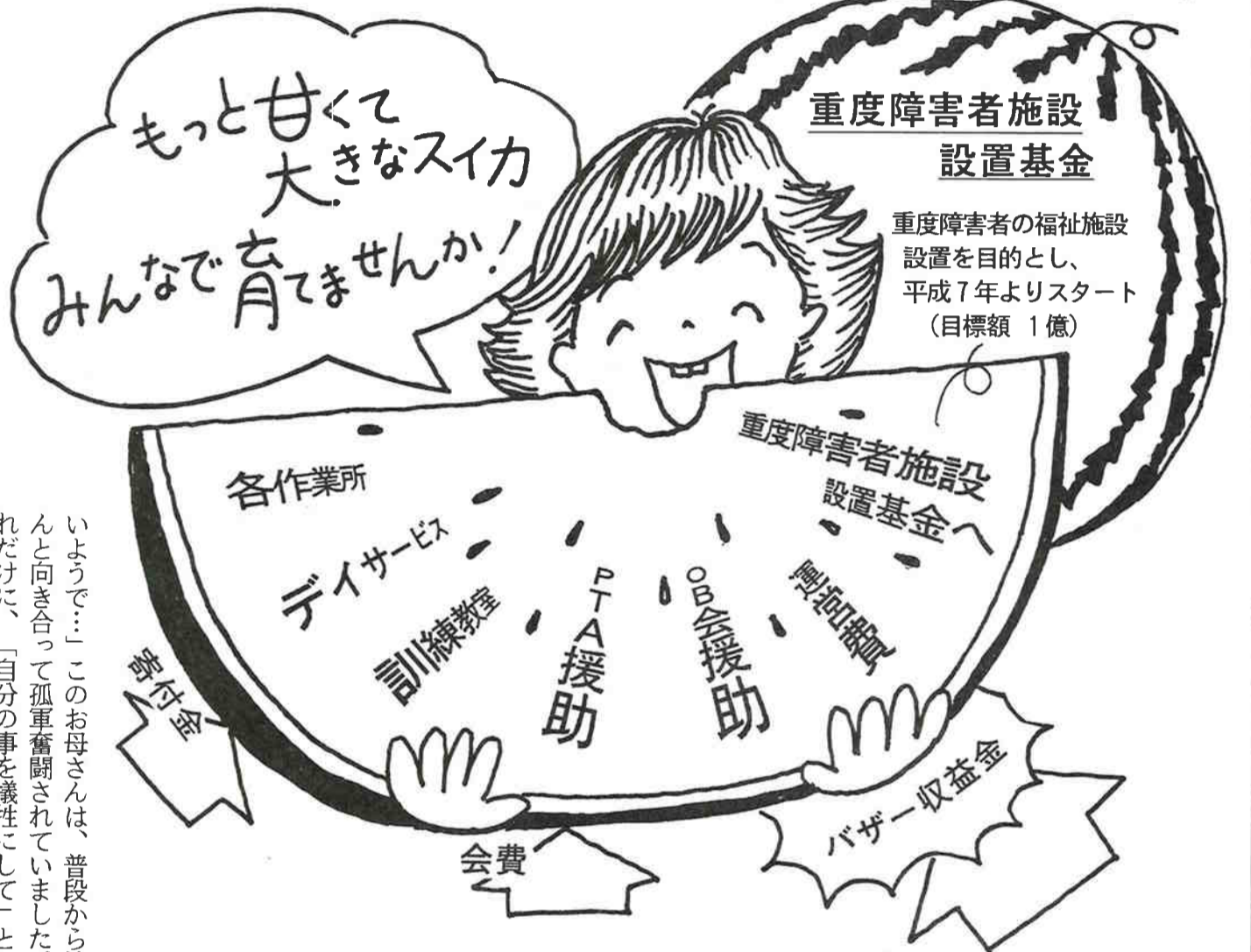
今回も平成9年度開設のおじ作業所、今年開設のゆめの作業所の開所運営費として計700万円が支出されました。そして毎年各事業所・両PTA・同窓会等に補助金を出しています。

今後も卒業後の進路として作業所等が望まれると思われ、また入所施設建設も待たれています。

資金確保は大きな課題なのです。

重度障害者施設 設置基金

重度障害者の福祉施設設置を目的とし、平成7年よりスタート (目標額 1億)



新役員紹介

会長 宮脇テール子	副会長 西原孚左子	会計 日高美恵子	会計 池田恵子	書記 進元文枝	事務局長 小野治子	庶務 北脇貞子	顧問 水野整一	相談役 足立梅雄	OB 室之園里子
名譽会長 牧野一夫	谷良子	佐伯和子	田戸美佐子	井賀いずみ	前川登美子	西村洋子	田中等	長谷川準彦	永瀬まさあ
望月秀雄	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	たおじ作業所所長	野村和子	高内恒夫	中元千鶴子
東郷賢治	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	ゆめの作業所所長	牛村和子	石川敬	森山チエ子
安原美	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
岡本茂	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
高井寛	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
堀川静子	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
矢野美知子	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
辻野富貴	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
大橋敬子	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
松岡幸代	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
谷口成子	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
高木恵子	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
伊藤明美	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
黒田素美子	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
藤井登美子	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
小野治子	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
西村洋子	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
中野記子	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
藤井登美子	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
黒田素美子	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
伊藤明美	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
高木恵子	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子
谷口成子	望月秀雄	西原孚左子	池田恵子	進元文枝	中野記子	伊藤弘海	室之園里子	安原美	森山チエ子

平成十年度の新役員が次のように決まりました。垂水養護学校の川上博校長の後任に本田亘校長が、齊藤允己教頭の後任に宮谷忠男教頭が、友生養護学校の工藤高行教頭の後任に引野洋一教頭が着任されました。

訃報

平成10年5・6月に次の会員の方々が亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げます。

- 牧野 美子様 (神樹の会名誉会長 牧野一夫様の奥様)
- 亀井 篤美様 (昭和62年度卒 亀井良元さんの母親)
- 横山 秋芳様 (昭和53年度卒 横山直美さんの父親)



まぶしいばかりの太陽に、楽しそうにひまわりがほほえんでいるような今日この頃となりました。お元気で過ごしていってほしいです。お元気で過ごしてください。会報四十五号をお届けいたします。又ご執筆下さった方々に心よりお礼申し上げます。秋のバザーには皆様のあたたかい心と大きな力がもちよれますようにと祈りつつ..

- 阡陌 松本 石倉 渡部 日高
- 西村 松岡 黒田 小野 宮脇

よろしくお願いいたします

この四月に退職された川上前校長先生の後任として、神戸市教育委員会指導第二課より着任しました。よろしくお願いいたします。

神戸市立垂水養護学校長 本田 亘

さて、国では平成九年に特殊教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議の報告により障害児教育が見なおされてきています。

しかし、学校教育の場を離れ進路の問題になると、障害児(者)を取り巻く社会環境は厳しく、毎年のことながら卒業生や保護者の方々を悩ませている切実な問題です。このような厳しい社会情勢のなか、神樹の会では卒業生の生活の場を確保するため、小規模作業所の開設支援など地道な活動をされておりますことに敬意を表すとともに感謝申し上げます。今後とも神樹の会の発展と、子どもたちの将来が希望に満ちた「ゆとりある生活」になりますことを祈念いたします。

子供のために自分のために

長女(由佳)の誕生日がきっかけとなって、私は養護学校(高等部)で教えるようになりました。

あるお母さんが、卒業後の進路を決める時に、次のような話をしてくださいました。「私は今までずっと、自分の事を犠牲にして、この子のために生きてきました。このまま、この子の世話に追われて生きてゆくのは、しんどくなりました。主人は仕事のことしか頭にない

いようで...」このお母さんは、普段から娘さんと向き合って孤軍奮闘されてきました。それだけに、「自分の事を犠牲にして」という言葉が今でも私の耳から離れません。たしかに、障害を持つ子供を育てることの大変さは言葉では言いようがありません。でもこのお母さんが、良い意味での「いい加減さ」を持っておられたら、もう少し楽に子育てが出来たのではないかな、と思います。

私の場合は、由佳のおかげで今まで全く知らなかった障害児教育の世界に頭を突っ込むことができました。障害の子供を持つ父親の顔を持つお母さん方とお話をしていると、心が通じ合えることが多く、それだけで「私も役に立っているんだ」という気持ちになる今日このごろです。

(友生養護学校小学部三年父親)